

新たな目標を目指し

頑張ります

南部町スポーツ・文化表彰式

3月19日、第6回南部町教育委員会スポーツ・文化表彰の表彰式が南部町公民館多目的ホールで開催されました。この表彰は、南部町のスポーツ・文化活動を更に発展させていくことを目的とし、町内在住の個人、団体又は町内勤務者に贈られるものです。本年は全国規模の大会で優秀な成績を収めた人に贈られるスポーツ賞1名、文化賞1名をはじめ、合計86名が受賞。受賞者を代表して梅原弘誓さん（小松谷音頭保存会・文化奨励賞受賞）は「受賞の大半は小中学生で、この活躍は南部町の将来に大いに期待が持てる。本日の受賞を期にますます精進していききたい。」と謝辞を述べられました。



永江教育長が表彰状を伝達
文化賞：潮七星さん

自立した生活を目標に

伯耆の国へ車椅子贈呈

3月23日、山陰合同銀行グループの役員で組織される「こうぎん一粒の麦の会」から社会福祉法人伯耆の国へ、車椅子が寄贈されました。

この車椅子は、入所者の自主的な移動や食事に支障が出ないように、車輪や背もたれ等を体型に合わせて調整できるタイプのもです。

伯耆の国・山野施設長は「ここでは全ての特等な車椅子を使用している。今回いただいた車椅子は生産数が少ない規格のもので、なかなか手に入りにくい。これを有効に活用し、入所者の自立を目指した施設にしていきたい」と話しました。



贈呈された車椅子でニココリ

天津

こちら振興協議会

『ふるさと天津紀行』

「昔から伝わる伝統行事や、語り継いでいきたい史跡などを次世代に伝え継承してもらいたい」という思いから、12名の委員さんが試行錯誤を繰り返して、ようやく百ページにわたる力作が完成しました。

冊子の編集は、委員さんが内容を調べ、写真を撮り構成を行いました。毎月一回開かれる部会では話が白熱し、深夜まで行われることもありました。

この熱い思いが詰まった『ふるさと天津紀行』は天津地区の全世帯に配布します。今後の参考にしたと思いますので、協議会の方へご意見ご感想をお寄せ下さい。



天津地域振興協議会
伝統文化史跡編集委員会
力作が完成しました

手間

岩舟憩いの館でほっとひと息

3月20日、公民館部が史跡めぐりコース内にある「はで木小屋」を修繕し、『岩舟憩いの館』と名付けた休憩所を奇麗にリフォームしました。場所は三崎区内の岩舟古墳近くであり、館からは赤猪岩神社のある手間要害が一望できます。

部員が集めた材料等で壁板を貼り、床のひび割れを修繕し仕上げました。会長、副会長を始め、部員のみならずも日曜大工は得意分野のようでも、とても慣れた手つき…その姿はまるで「手間山の匠」!

南部町のみなさん、歴史、史跡めぐりでこちらにお寄りの際には、ぜひご利用ください。



みなさん お越しくさださい